

新東京

NO 3749

2005年
1月1日(土)

日本郵政公社
労働組合
新東京支部
編集委員会

03-5690-2847
内線 4163

謹賀新年

組合員の皆様、明けましておめでとうございます。

各部・各課での年末繁忙お疲れ様でした、
二〇〇五年が、皆様に実り多い年になりますようにとお祈りいたします。
二〇〇四年を表す漢字は「災」であると言われる

程、世界で、日本で、台風、地震、洪水、早魘の被害が続出し、自然の脅威を目の当たりにした年でした。十二月二六日のスマトラ沖地震・津波では、津波災害史上最悪の被害が出ました。被災された皆さんに心からお見舞い申し上げます。
昨年は又、政治・経済

でも、大きな動きがありました。いわゆる「王国」

の崩壊を目撃した年でもありました。「西武」「読売渡辺」「ダイエー」「自民党橋本派等」そして、小泉総理の無責任さが明らかになってきた年でもありました。

私達の組織も全通からJPUへと名前と組織のあり方を転換し、さらに前進する決意を固めた年でもありました。

私達、新東京支部は今年も多くの課題に取り組みます。

第一の課題は、郵政民営化に反対の取り組みで

す。大変厳しい取り組みになると思いますが、本部・地域の指導の下、対応出来る組織体制を準備しなければなりません。組合員の皆さんの協力を是非お願い致します。民営化は雇用の問題であり、傍観者ではられません。未加入の皆さんにも共に行動されることを強く訴えます。郵政事業を守り雇用を守り国民の財産を守る取り組みに、より多くの皆さんの参加を要請します。

第二の課題は、労働条件と業務運行の課題です。相次ぐ新規施策の導入と展開、要員配置と品質管

理、サービス維持、深夜勤で失われた条件も意識した総合的な労働条件の改善、年末繁忙の中で出てきた課題、人事制度の課題、非常勤の皆さんの処遇改善等取組むべき課題は多くあります。支部は皆さんと意見交換をしながら少しでも成果を得られるように地本・本部にも交渉の強化を要請して行きます。

第三の課題は、組織活動の活性化です。複雑でキツイ勤務の中で、組織としての活動に支障を来さないように執行部を先頭に努力して行きます。また、出来るだけ皆が

集まれる企画を支部・分会で工夫し、皆さんの参加をお待ちしています。今年も組合員の皆様のご理解・ご協力をお願い致します。

J P U 新東京支部
執行部一同



日 刊	新東京	NO. 3751	2005年1月11日(火)
		日本郵政公社労働組合 新東京支部 編集委員会	
		03-5690-2847	内線 4163

経営効率化勸奨退職に伴う調整額を創設

退職時の加算昇給は全て廃止に

「早期勸奨退職の見直し」中央交渉整理

妥結判断は、2月の中央委員会で

本部は標記調整額の創設【UI-NET NO.413】について公社との大綱整理を図り、次期中央委員会にてその妥結・承認を求めるとしています。

国家公務員の退職手当の支給をめぐるのは、国会・マスコミ報道等による強い圧力の下、2004年5月1日に一般職国家公務員が先行する形で廃止されました。

その後公社は、2004年6月、本部に対し「20年勤続加算昇給」(実施日平成16年8月1日)及び「勸奨による高齢退職加算昇給」(実施日平成17年4月1日)の廃止について提案を行ってきました。

本部は第59回全国大会で「新たな早期退職優遇制度の創設に『効率化勸奨による加算給』も含めた優遇措置を求めていく」との答弁を行い、大会確認を行ってきました。

大会終了後、「20年勤続加算給」の経過措置を行った上で2004年8月1日から廃止することで最終妥結したところです。

残る「勸奨による高齢退職加算昇給」(実施日平成17年4月1日)について本部はこの間、それに代わる「早期退職優遇制度」の早期構築に向けて具体的交渉の積み上げを行ってきたところです。結果、退職時の新たな premia として「調整額化」することで労使合意に至ったとしています。

調整額化を採った判断要素として本部は、「20年勤続加算昇給の廃止」の経験からも「特別昇給」という形で残すことが厳しい情勢であること。現行の退職手当法においても勸奨相当分(支給率法4条・法5条や定年前 premia 最高20%)などが盛り込まれていることから一時金方式(民間企業のように別枠で何百万積んだりすること)を採った場合に対外的に説明が難しいこと。この間、昇給による加算だったため現給保障の消しこみとならないよう特別の取り扱いを講じてきたが、調整額化することで消しこみの対象から外させたこと。などを挙げています。

具体的額の設定にあたっては、現行「勸奨による高齢退職加算昇給」分にあたる4号俸(約700円～800円×4号俸)を相当上回る上積み措置を行わせることが出来たとししています。

本部はこれがギリギリの到達点と判断し、最終合意を行ったものです。【裏面に続く】

勸奨退職（高齢・効率化）制度 新旧対照表

項目等		旧	新
高齢 勸 奨	要件等	年齢50歳以上又は勤続20年以上	年齢50歳以上
	優遇措置	加算昇給の実施	俸給の調整額の支給⇒※下記
効率化 勸 奨 関 係	要件等	要員措置を必要とする局所に勤務する年齢50歳以上、又は勤続20年以上 (効率化退職〔勤続20年未満〕可)	効率化に伴う過員発生局所に勤務する年齢50歳以上、又は勤続20年以上 (効率化退職〔勤続20年未満〕不可)
	優遇措置	加算昇給の実施	俸給の調整額の支給⇒※下記
		* 経過措置 本年度内に実施する効率化勸奨退職者は、勸奨退職調整額の支給月額と廃止前の加算昇給（4号俸）による昇給額のいずれか有利な方を適用	

※ 経営効率化勸奨退職調整額

実施日(退職日)の満年齢	支給月額
56歳以上	3,500円
53歳以上 56歳未満	3,800円
50歳以上 53歳未満	4,300円
50歳未満	5,100円

【表面より】

なお、今年度内に実施される効率化勸奨退職については、現行（勸奨による加算昇給4号俸）と今回の措置（経営効率化調整額）を比較して有利な方を選択する経過措置が設けられることとしています。

以上が早期勸奨退職をめぐる中央交渉の大綱整理内容です。本部では、平成17年3月末の勸奨退職実施の有無については、現在、公社で実施の方向で作業を進められており、1月中旬までには、具体的な実施要綱を明示させて、明らかになり次第、別途周知するとしています。前述した通り、これらの大綱整理内容は、2月の中央委員会議案として提案されてくることとなります。

日 刊	新東京	NO. 3753	2005年1月13日(木)
		日本郵政公社労働組合 新東京支部 編集委員会	
		03-5690-2847	内線 4163

J P U 新東京支部 青年部主催冬レク 『北海道スキー』大決定!!

日時 2005年2月20日(日)～22日(火)
【二泊三日】

参加費 3万円(飛行機、宿泊、
1日目の夕食、3日目の観光代込み)

宿泊先 「ホテルアーサー札幌」
(最寄り駅→中島公園)

日程 [1日目] 羽田空港→新千歳空港→ホテル→夕食

[2日目] 終日フリー(スキー者は貸切バスを用意)

[3日目] 観光(登別温泉)→新千歳空港→羽田空港

※1日目の夕食と3日目の観光は
全員参加でお願いします。

最終集約→1月末日まで

★申込方法→各分会役員及び青年部役員まで！

まだまだ参加が少ないので家族でふるって御参加下さい。

日 新 東 京 刊	NO 3754	2005年 1月14日(金)
	日本郵政公社労働組合 新東京支部 編集委員会	
	03-5690-2847	内線 4163

「平成16年度末経営効率化勸奨退職 (3月末高齢勸奨に関するもの)」 について

公社より「平成16年度3月末勸奨退職の実施について」実施する旨の説明があった。あわせて郵政共済組合からも同様の主旨で実施することについて説明があった。

本件について、本部は「新たな制度切り替えによるはじめての勸奨実施であり、職員周知の際の対応を慎重に行うこと、また、出来る限り早期に本人周知をするよう最大限の努力をすること」を申し入れた。

記

1, 名称

<旧>

(高齢退職) 勸奨退職

<新>

経営効率化勸奨退職(高齢勸奨に関するもの)

2, 要件等

<旧>

年齢50歳以上又は勤続20年以上

<新>

年齢50歳以上

3, 実施日

平成17年3月31日(木)

4, 周知・勸奨期間

平成17年1月21日(金)から同年2月7日まで

5, 優遇措置

① 国家公務員退職手当法及び関係規定に定める勸奨退職の場合の退職手当支給を適用

② 『経営効率化勸奨退職調整額』を支給し、退職金算出の基礎額とする。

※以上平成17年1月11日中央本部文書から

早期勸奨退職の見直し 経営効率化勸奨退職に伴う 調整額の創設

＝実施日平成17年3月1日＝

早期勸奨退職の見直しをめぐる中央交渉は、公社より早期勸奨退職の実施に伴い退職する職員に対し、これまで本部が強く求めてきた勸奨退職制度の意義と要因制作のあり方に応え、現給保障の消し込みとまらない「経営効率化勸奨退職調整額」（下記）を創設するとの最終提案があり、本部はこれがギリギリの到達点と判断し大綱整理を図った。①高齢勸奨は50歳以上、②効率化勸奨退職は50歳以上、または勤続20年以上としている。

実施日は平成17年3月1日。これにより勸奨退職・効率化退職による加算昇給は実施日以降廃止する。

なお、本大綱整理内容は第120回中央委員会の議案とし、同委員会での妥結・承認を求めることとする。

併行して求めてきた平成17年3月末勸奨退職の実施の有無については、現在、公社で実施の方向で作業を進めており、1月中旬までに本部に明示することを確認してきている。実施要項について、明らかになり次第、別途地方周知するので了知されたい。

【経営効率化勸奨退職調整額】

職群	年齢	支給月額
一般職	56歳以上	3,500
企画職群	53歳以上56歳未満	3,800

(注) 実施日(退職日)の満年齢とする。

※以上平成16年中央本部文書

日 刊	新東京	N03757	2005年1月19日(水)
		日本郵政公社労働組合 新東京支部 編集委員会	
		03-5690-2847	内線 4163

スマトラ沖大地震・大津波災害救援

特別緊急カンパのお願い

連日の報道等でご存知のとおり、昨年末インドネシアのスマトラ島沖で発生した大地震と大津波は、被害国10カ国、死者15万人以上、被害者も数万人以上に達する史上最悪の被害となっています。

現在情報が錯綜しており、正確な情報を得るにはもう少し時間がかかるもようですが、インドネシアではアチェ支部長を含む郵便労組組合員24人が亡くなったニュースや、スリランカでは郵便労組の被害が大きく、約350の郵便局に被害がでており、5～6名の組合員の死亡が確認されています。

このような状況の中、JPU本部は平和国際連帯基金より200万円を拠出するとともに、組合員の任意カンパを実施することを中央執行委員会で決定し、UNI-APPOを通じて被災地に届けることとしました。

新東京支部としましても、中央本部、東京地本の要請を受け任意カンパの取り組みを行うこととします。

昨年末からの相次ぐカンパ要請となり、組合員の皆さんには大変なご苦勞をおかけしますが、よろしくお願いいたします。

	<h1>マイガード</h1>
<h2>医療共済</h2>	<h2>ご家族全員の医療総合補償</h2>
<small>引受保険会社：東京海上日動火災保険株式会社 [団体医療保険(1年契約用)+団体がん保険(1年契約用)+普通傷害保険]</small>	

新東京

NO 3758

2005年
1月20日(木)

日本郵政公社
労働組合
新東京支部
編集委員会

03-5690-2847
内線 4163

第120回中央委員会議案について

2月16日、17日に開催される第120回中央委員会議案が職場に配布されています。

今後、執行委員会や支部委員会で議論を深めていくこととなりますが、議案書の骨子のポイントを数回にわけて報告します。

◆第120回中央委の任務と役割

1月21日の通常国会の開会を受け、『郵政民営化問題』が、いよいよ正念場を迎えます。

この民営化への対応が、2005年春闘の大きな柱になります。そこへの意思結集をはかり、誤りなき組織対応方針を確立し、確認しあうことが重要です。

◆民営化問題への対応

「民営化ありき」の小泉政策には断固として反対します。国

民的な議論を経て、公社として発足した日本郵政公社を育て、発展させることが、真に国民生活に益をもたらすことにつながると確信します。JPUは『労組政策協議会』を軸に、全郵政労組とともに、民営化反対のチラシ配布や街宣行動を進めてきました。今後、部内の力をひとつにし、行動を進めていきます。

又、政府による民営化法案の上程までを「第2ステージ」として位置づけ、政府と自民党が意見調整を進め、どのように政策決定されるか、そこにポイントをおいた政治対応を進めます。民主党との連携をさらに強化し、国会審議に万全を期します。

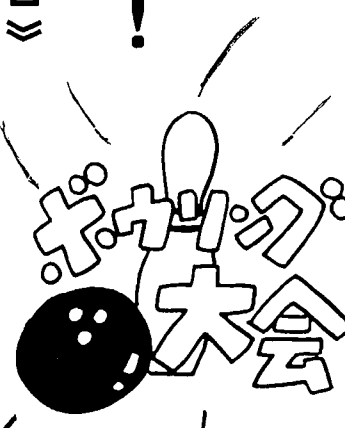
雨の中、

お疲れ様でした！

〈支部ボウリング大会、報告〉

1月16日、支部ボウリング大会が開催されました。

大会当日の日曜日は、あいにくの雨でしたが、みんなやる気まんまんで錦糸町に集結しました。錦糸町ロッテボウルを20レーン貸し切って組合員



とその家族、ゆうメイトの方も集まって秋山支部長の挨拶のあと、2小分会の娘さんの始球

式でボウリング大会、スタート！

ストライク、スペアーを連発する人、また、毎回1本だけ残って「あれ、

今日はずいてないな〜！」とボヤク人、そして、ミゾ掃除をしまくる人…。70名を超える参加者は、みんな笑顔（！）でボウリングを楽しんでいました。場所を変えて、表彰式へ

。。。 おおかたの予想どおり団体戦は1特分会の圧勝！個人戦も昔のボウリング世代の方の受賞が多かったように思いました。

雨の中、また勤務の都合上、今回の支部レクは参加するのが大変だったと思います。これから楽しい企画を考えますので、皆さんの参加をよろしくお願い致します。

日 刊	新東京	NO. 3761	2005年1月25日(火)
		日本郵政公社労働組合 新東京支部 編集委員会	
		03-5690-2847	内線 4163

年末始繁忙を振り返って①

今年度の年末年始の繁忙業務を振り返り、評価・反省をし、業務改善に繋げたいとの意味で、業対会議を開催した。

今回は、全体で行った場合あまりにも問題が多く、丸一日かけないと終わらないと予想し、部ごとに会議を開く事としました。

1/7 小包部、1/15 輸送部、1/17 普通部、1/18 特殊部という順に行いましたので、その内容について報告致します。

まず、会議に入る前に、各分会にアンケートを記入してもらいポイントを絞って討議しました。

- 1 指定表及び要員について
- 2 マル超・廃休・超勤について
- 3 結束について
- 4 良かった点、悪かった点について

以上の内容で各部・デパート・新棟・年賀の関係等報告します。

〈小包部〉

- 1 指定表及び要員について
 - ① 指定表は特に問題なし。
 - ② デパート・新棟に派遣し、抜けたままのチーム編成で指定した為、供出したチーム同士が深夜勤だと要員不足になった課があった。
 - ③ 業務量に見合った要員になっていなく、本務者・ゆうメイト共にどう考えても少なすぎた。
 - ④ 短期ゆうメイトが必要な時に少なかった。
- 2 マル超・廃休・超勤について
 - ① 計画的にマル超・廃休をした課もあり、計画性のない課もあった。
 - ② 本務者の超勤は有効だった。
- 3 結束について
 - ① 繁忙期の結束はかなり厳しいと感じた。
 - ② 毎日、臨時便を取っている所があった。
 - ③ ほぼ毎日、運休やパレットを搭載しないような便もあった。

- ④都内の便で、新棟は全く載せないで本局のみ搭載して使用した便もあった。
- 4 良かった点、悪かった点について
 - ①ストレージ便が有効だった。(考え方が良かった)
 - ②支社、告一、管理者、共通関係の方達の応援が有効だった。
 - ③チルド保冷車便で 12/25 で終了だったものを、12/31 まで延長したのは有効的だった。
 - ④ゴルフ・スキーゆうパックのラベルが複写式で、復路になると写りが悪く、読めないラベルが多かった。
 - ⑤差立のパソコンが 23 時頃になると調子が悪くなり、運送記を手書きで発行した。
 - ⑥保冷 FC に一般小包の積み込みをする為、パレットの保管でスペースが取られていた。(便が 9 時頃に集中している為)
 - ⑦近県の保冷車便で 0 時台の午前配結束の搭載台数が足りなかった。残った場合はチルドコンテナに詰め替えて出さなければならなかった。

〈デパート〉

- 1 指定表及び要員について
 - ①深夜勤の 4 回の所で中間に非番・週休を使う為、最後が非番のみになり、次の日は昼間の勤務が出てくるので辛かった。
 - ②昼間の勤務が 3 本あり、要員が薄い勤務帯があった。
 - ③休憩・休息の時間が小包のサービスに合わせている為、不便を感じる所があった。
 - ④本務者の要員がもっと欲しかった。
- 2 マル超・廃休・超勤について
 - ①マル超・廃休は 1 日程度だった。
 - ②超勤はあまりかからなかった。
 - ③ゆうメイトにはかけていた。
 - ④スムーズに仕事回しが出来なかった。
- 4 良かった点、悪かった点について
 - ①自転車が配備され、動きやすかった。
 - ②ちゃんとした休息室がなく、仕事をしている横で休んでいる様な感じだった。
 - ③ゆうメイトが応援で取られてしまい、デパートの区分処理に支障が出た。

次号へつづく…

年末始繁忙を振り返って②

〈新棟〉

- 1 指定表及び要員について
 - ① デパートと同様で深夜勤の最後は非番・週休で終わる様にして欲しかった。
 - ② サービスどおりに休めない時があった。
- 2 マル超・廃休・超勤について
 - ① マル超・廃休は2～3日あった。超勤も深夜勤を除きほぼ毎日かかった。
 - ② 前半ゆうメイトが足りなかったが、後半は充実していた。
 - ③ 夜間帯に本務者の要員があと少し欲しかった。
- 3 結束について
 - ① 外周の結束便で搭載数が少なかった。
 - ② 都内伝送便に若干の問題があった。(局発時刻が早すぎた)
- 4 良かった点、悪かった点について
 - ① 業研が不十分だった。(全員が受けてない)
 - ② ホームのリフトが上に上がるのみで低い車もあり不便だった。
 - ③ 開設プロジェクトには他部からも新棟へ行く人も、参加する様にすべきだった。
 - ④ 計理の仕事をする人を専従で配置して欲しかった。
 - ⑤ 新棟→本局のシャトル便を設定していたが、いつも臨時便に使われてしまい、必要な時に使用できなかった。又、最後には廃止となり集荷用の2t車が配備された。
 - ⑥ リンゴ便でパレットが不足し、直積みで到着した。
 - ⑦ 有証・チルド・ゴルフ・スキー・OverNight・Oneday 全ての物が新棟に到着した。

〈輸送部〉

- 1 指定表及び要員について
 - ① 郵窓の指定に問題があり、修正した。
 - ② 12/30・31に差立便が増えるが、今年は要員を増やさず大変だった。

- ③到着において、日勤帯の朝方に要員が足りない。計理が応援に入る。
- ④差立において、午後からのゆうメイトが常時たりない
- ⑤佐川の処理要員が付き、有効だった。

2 マル超・廃休・超勤について

- ①LL関係で超勤があった。
- ②郵窓では、マル超・廃休がかかり、超勤もかかる。

3 結束について

- ①LL関係で厳しい日があった。

4 良かった点、悪かった点について

- ①交通整理の誘導員がついたのが、有効だった。
- ②パレット・ケースの不足があり、ケース搭載で到着した時もあったが、前年度よりは良かった。
- ③到着関係で伝送補助便で小包立ち寄りが無い、また日曜日の伝送便で小包に行かない便に、小包のパレットを搭載し下ろされてしまい苦労した。
- ④業研が実施されていないので、情報が無い。
- ⑤年末になると毎年おきるが、何も知らない運送業者が来て困る。もっと指導をしてから来て欲しい。
- ⑥差立便の反省で毎年上がる事が直らない。例えば銀座局の便など200P位になることがあるが臨時便がとれない。また伝送一号便の後、伝送補助便が出るが、年末は一時間繰り上がり三時頃になる、搭載するパレットが無く小包のパレットを載せている。
- ⑦伝送二号便の差立処理の為、深夜勤ゆうメイトの休憩時間が食い込むことがある。
- ⑧郵窓到着の冊子小包を二普に入れるスペースが、デパートのパレットがあり狭くなっている。
佐川も来年度はもっと増やすと言っている。
- ⑨郵窓では、カウンター業務の出来る人が足りない。
- ⑩空パレットの回送便が設定されたが、あまり戻って来なかった。JR便は来ていたが、自動車便はほとんど来なかった。
- ⑪局内の輸送と小包の差立搭載数のバランスが悪い。

次号へつづく…

年末始繁忙を振り返って③

今年度の年末年始の繁忙業務を振り返り、評価・反省をし、業務改善に繋げたいとの意味で、業対会議を開催した。

今回は、全体で行った場合あまりにも問題が多く、丸一日かけないと終わらないと予想し、部ごとに会議を開く事としました。

1/7 小包部、1/15 輸送部、1/17 普通部、1/18 特殊部という順に行いましたので、その内容について報告致します。

今回は連載の3回目で、J P Sが導入された年賀と普通部関係です。

<普通部・年賀>

1、指定表

<年賀>新夜勤が欲しかった(引き継ぎのため)

<年賀>日3が必要(夜勤が16:45~17:30まで
休憩・日1は17:00終了)

<年賀・一普>深夜3連続があり大変きつかった。

2、○超・廃休、超勤

昨年よりは適正にかけられていたと思う

3、要員

<年賀・一普>深夜勤導入により業務の引き継ぎに苦労した(勤務の種類が昨年より多いため)

<普通部>年休が、本務者とゆうメイト共に昨年より取得できなかった

<年賀>一普の専担者がギリギリまで決まらなかった
現場より苦労が多く、やり甲斐も無い様に感じる

<年賀>大区分・交換を分担制にしようとしたが、結局別々にした

<年賀>他部課からも専担車の要員を供出して行うのが良い(普通部だけでなく)

4、施設関係

- <年賀> 有人車が足りなかった (昨年4台、今年は2台)
- <年賀> 移載機が良く壊れた (職員の訓練不足?)
- <年賀> 空パレット降ろしが19:00に計画されていたが、差し立ての時間と重なるのと要員が薄い時間であったため、降ろせない。
- <一普> 2階に空パレットが多量に溜まっていることが多かった
- <一普・二普> パレットケースが不足した
- <年賀> 交換のスペースが狭い (チルド・LLとの競合)

5、年賀について今年度良かった点は

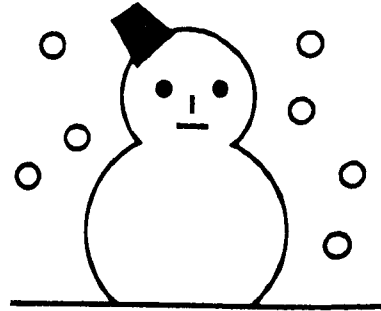
- ゆうメイトの事前訓練は効果があった
- 区分機処理は昨年よりスムーズだった
- 区分機でのケース直接納入は効果的だった
- 再供給は昨年より計画的だった
- 区分機班への携帯 (PHS) 配備
- 区分機稼働計画は良かった
- 受入と大区分場のレイアウトは15年度より良かったが、狭かった。
- 区分機班の休息所は良かった

6、年賀について今年度悪かった点は

- 専担職員に、ゆうメイト事前訓練の内容について周知不足で、ムダな説明が多少あった
 - 途中でやり方を変えすぎて混乱があった
 - 大区分の原単位について、柔軟なゆうメイト配置が出来なかった。ノートパソコンの調子が度々悪くなった。
また、パソコンを操作出来る職員があまりいないのでパソコン管理には無理があるのでは?。
 - ゆうメイトの集まりが悪かった (採用状況)
 - 専担者への事前訓練が不足 (業研だけでは足りない)
 - ゆうメイトの受付要員が足りない
-

日 刊	新東京	NO. 3764	2005年1月28日(金)
		日本郵政公社労働組合 新東京支部 編集委員会	
		03-5690-2847	内線 4163

締め切り間近!!
 新東京支部青年部主催
 『冬レク in 北海道』



今年の冬レクは『北海道』へ行くことに決定しました。詳しい内容については、青年部役員までお尋ね下さい。

☆日時☆ 2005年2月20日(日)~22日(火) 【二泊三日】

☆参加費☆ 3万円 (飛行機代・宿泊費・一日目の夕食代・三日目の観光代込み)

☆宿泊先☆ 『ホテルアースー札幌』 (最寄り駅は、中島公園)

☆日程☆ 【一日目】羽田空港→新千歳空港→ホテル→夕食 (キリンビール園)

【二日目】終日フリー (スキー場へ行かれる方は、貸し切りバスを用意)

【三日目】観光 (登別温泉) →新千歳空港→羽田空港

※一日目の夕食と三日目の観光は、全員参加をお願いします。

☆申込方法☆各分会役員・青年部役員まで申し付け下さい。

最終集約は、1月末日まで!

職員の数が少なすぎます

どこの課でも同じような状況だと思うのですが、職場に人がいないなあと感じることがよくあります。

泊まり勤務の時には、かなり以前からもう絶対的に少なく、すごく忙しい時でも、時間帯によってはほとんど人影がなかったりします。

それに加えて、最近では、昼間の勤務の時に、よく

そう感じます。

数年前までは、昼間、今日は稼働が多いなあと思うことがあったのですが、最近ではそんなことは全くありません。

泊まり勤務では、どうみても完全に人が不足しているかと痛感するばかりで、昼間の勤務でも、折に触れてもっと人を増やす必要があると感じます。

これで仕事は何の問題もなくまわっているのなら、この状態が正常なのだと思います。うこともできるのですが、もはやきちんと結束するとか、時間どおりに差し立てるとかいったことは考慮の外にあるようで、そんなことはどうでも良いといった状況です。

仕事が変わるかどうかをあまり考えずに、ただただ減員してきたツケがまわっているようです。

きちんとした仕事ができるよう、きちんと結末でき、きちんと時間どおりに差し立てられるよう、職員の数を増やしてもらえませんか。